

ともしび保育園



2019年11月1日 発行

ラグビーW杯を観て

11月です。先日の台風19号上陸の際のファミリーデー中止と幼児ファミリーデーの開催に関しまして、保護者の皆様には大変ご心配をお掛けしましたことをお詫びいたしますとともに、多大なるご協力を頂きましたことを厚く御礼申し上げます。また幼児ファミリーデー当日、それまで積み重ねてきた活動の成果を見事に披露してくれた子どもたちは本当に輝いていました。すべての皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

さて、先月はラグビーワールドカップでの日本代表の快進撃の話題で持ちきりでしたね。私は以前ラグビーの強い高校で働いていたこともあって、年末年始には高校ラグビーや日本選手権などをチェックしていましたが、世界トップクラスのラグビーをこれだけ集中して観たのは初めてでした。

今回のワールドカップで感じたことは、まず体格で勝る相手に対しても日本がスクラムやボール回しで負けていなかったことです。これは研究と練習の積み重ねの成果だと思います。次にラグビーではどんな名選手でも一人で試合を決めることはできず、チームとしての意思統一や個々の役割の徹底した遂行が試合を左右するという事です。日本はこの点を強みにして勝ち星を重ねたように感じます。外国出身の選手が多い日本がこの点を強みにできたことは、本当に素晴らしいことだと思います。最後はノーサイドの精神です。どんなに激しく戦っても試合が終われば一人の人間として互いを讃え合う。観客も双方入り混じって座るがケンカなどせず熱く応援し、試合後は肩を組み合って親交を深める。まさに「紳士のスポーツ」だと感しました。台風で釜石での試合が中止になったカナダ代表やナミビア代表の選手が、被災者の支援を行ったこともとても感動しました。

難しいと思われることにも諦めずトライすること、よく考えて練習を積み重ねること、いろいろ立場や特徴を持った人を理解し力を合わせる事、そして仲間や相手をリスペクトすること。保育園の生活はスポーツとは違いますが、今回のラグビーワールドカップを通じて感じたこれらのことは、子どもたちが成長していく上でとても大切なことだと思います。

私たち保育園も、ご家庭とスクラムを組み、互いにボールをつないで、子どもたちが生きる力を身につけ、思いやりの心を持つことができるよう、日々努めてまいります。何卒よろしくお願いたします。

園長 山田 英

